

## ～就任あいさつ～

1月より“喫茶・レストラン オアシス”の施設長に就任しました、仲村成司です。  
つばめ福祉会に入職して2年目ですが、これまで学んだことを大切にしながら、利用者の方々、スタッフと協力しながら、オアシスを一層発展させていきたいと思っております。  
不慣れな点も色々あると思いますが、よろしくお願いいたします。



## ～各施設よりお知らせとご挨拶～

### つばめ工房 原作業所

あけましておめでとうございます。コロナの影響で自粛ムードが続く中ですが、原作業所では「きなこシフォン」と「クランベリークッキー」などの新商品の開発に向けて試作に取り組んでいるところです。メンバーさん製作の**手芸品の店舗販売**を開始するなど、元気に新しいチャレンジを続けています。



### 喫茶・レストラン オアシス

新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願いいたします。  
12月より冬メニューがスタートしました。今回のおすすめは**“ホットとゆず茶”**です。  
はちみつ入りで、身も心もあたたまります。(250円です) ぜひ、ご賞味ください!



### ぷらっと

新年あけましておめでとうございます  
これからも皆様が、ほっとでき、少しでも元気になる居場所作りを提供するため、精進して参りたいと思っております。  
今年もどうぞ宜しくお願いします。



### ピアつばめ(そらいろ)

あけましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願いいたします!  
そらいろでは、つばめをモチーフにしたエコバックを製作しております。つばめは1つ1つステンシルでメンバーが色をのせています。ちょっとしたお出かけに丁度良いサイズになっています。値段は1つ450円。



### 西区第1基幹相談支援センター

あけましておめでとうございます。昨年は「当たり前」が大きく変化した1年でした。変化の中には多くの発見があり、様々な気付きもありました。本年は、その気付きを活かしながら、よりよい支援を続けて参りたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

### 【編集後記】

あけましておめでとうございます。未曾有の災禍の中、皆様のご協力のもと無事にSWALLOWが発行できることを嬉しく思っております。今年も先を見通しづらい状況ではありますが、少しでも明るい話題を皆様にお届けできるように編集委員一同頑張って参りますのでよろしくお願いいたします。寒さ厳しき折、どうかご自愛ください。(ピアつばめ 嘉村)

編集：つばめ福祉会 編集委員会責任者 鷹尾和頭  
発行：九州障害者定期刊行物協会

〒814-0021 福岡市早良区荒江2-8-6  
〒812-0054 福岡市東区馬出2-2-18  
電話：(092)753-9722 FAX：(092)753-9723  
購読料1部 100円(会費に含む)

QSK  
つばめ通信

2021年冬号



〈社会福祉法人つばめ福祉会〉 <http://www.tsubame-fukuoka.jp>

|                            |  |                 |
|----------------------------|--|-----------------|
| ●法人本部                      | 〒814-0021 福岡市早良区荒江2-8-6(ぷらっと4階)        | TEL092-400-7110 |
| ●ぷらっと(地域活動支援センターI型)        | 〒814-0021 福岡市早良区荒江2-8-6                | TEL092-400-7132 |
| ●つばめ工房 原作業所(就労継続支援事業B型)    | 〒814-0022 福岡市早良区原3-18-15               | TEL092-821-4055 |
| ●ピアつばめ(就労継続支援事業B型/生活訓練事業)  | 〒814-0021 福岡市早良区荒江2-18-25              | TEL092-407-9641 |
| ●喫茶・レストラン オアシス(就労継続支援事業B型) | 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ1階         | TEL092-713-3484 |
| ●西区第1障がい者基幹相談支援センター        | 〒819-0002 福岡市西区姪の浜4-22-31 ヌメルスIII 30号室 | TEL092-885-5060 |

## 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。  
旧年中は皆様より暖かいご支援ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は正に新型コロナウイルスにより、本当に大変な一年でした。感染拡大防止の為、法人設立後初となる通所利用の一時休止や、各種イベントやレクリエーションの中止など、利用者・ご家族の皆様にはご不便をおかけいたしました。しかし皆様のご理解とご協力、そして行政や関係機関の方々のご支援のおかげで、法人内で新型コロナウイルス感染者を出すことなく、支援活動を続けることができ、無事新たな年を迎えることができました。改めて感謝申し上げます。

我慢やストレスも多い一年でございましたが、コロナ禍を皆で協力して乗り越えるという経験を通じて、利用者スタッフの絆は一層深まったように感じます。

本年もつばめ福祉会は、利用者の皆様が安心と希望を感じられるよう、どのような状況においても利用者寄り添い共に歩んで参ります。

一日も早く以前の日常が戻ることを、そして本年が皆様にとり、健康で実り多い年になることを祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

令和3年 元旦

社会福祉法人つばめ福祉会

社会福祉法人つばめ福祉会 理事長

つばめ工房原作業所

法人本部

喫茶・レストラン オアシス

ピアつばめ

地域活動支援センターI型

西区第1障がい者基幹相談支援センター

さわら会

施設長 鷹尾和頭

総務課長 井上悦子

施設長 仲村成司

施設長 岸良綾子

センター長 田中朋子

センター長 西村隆之

会長 西村和徳



# 永年勤続者新春座談会



～来た道 行く道～  
語り継ぐこと、そして未来へ

つばめ福祉会  
創立 25 周年



ぶらっと食堂にて行われた永年勤続者座談会。  
長年、福祉に携わってきたからこそ感じてきた想いと  
つばめ福祉会のこれからを語っていただきました。



写真前列左から 鷹尾和順理事長(つばめ福祉会)、西村和徳会長(さわら会)、岸良綾子施設長(ピアつばめ)、  
後列左から森野和子生活支援員(ピアつばめ)、齋藤いずみ相談員(地域活動支援センターぶらっと)、喜多笑巳子副主任コーディネーター(西区第1障がい者基幹相談支援センター)

**鷹尾:** つばめ福祉会は、前身となる作業所を立ち上げてから昨年で25年が経ち、今年で26年目に入ります。この間には、福祉を取り巻く環境は大きく変わりました。本日はこれまで、つばめ福祉会を第一線で支えて下さった皆さんにこれまでの思い、そして今後の展望についてお話を伺いたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## ●苦勞したことを教えてください。

**西村:** 作業所発足(H7年)は、家族会が、お金を出し合い、又地域の方々からの寄付を募ったりして共同作業所を立ち上げ、家族会員一人一人がボランティアスタッフとして勤務しながら、仲間達を支える苦難の時代でした。その時代が長く続きました。徐々に社会の中でも理解が広まり、H17年に障害者自立支援法(現・総合支援法)成立や、その後、国際障害者権利条約の発効などもあり、障害者支援の理念が、広く社会の中でオーソライズされ、福祉支援の体系が形成されるようになりました。

いまでは一応、国や自治体の福祉施策が確立され、福祉事業として、専門スタッフにより、仲間達に支援を提供できる時代

となりました。その間実に26年の年月を要したわけですが、まだまだ課題は多々あるものの昔と比べたら雲泥の差であり、本当に感慨無量です。

**森野:** 昔は必死で障がいのことや制度を理解するために勉強会や講座によく通ってましたね。

**齋藤:** 最初のころは障がいのことなどよくわからなかった。支援という前に“ヒト対ヒト”で一緒に生活を送っていましたね。でも人間味があって楽しかったですね。

**岸良:** 私も障がいとは何かわからず入社して、決してこうなさいとは言われなかったけど齋藤さんの後姿が私にとってのお手本でしたね。

**喜多:** 右も左も分からないから森野さんや齋藤さんを見て過ごしてきましたね。利用者さんは優しく気遣ってくれる言葉をかけてくれて、前にすすむことができていましたね。

## ●印象深い出来事を教えてください。

**喜多:** メンバーさんの結婚式を祝ってお祝いしたよね。とても嬉しかったよね。

**齋藤:** 結婚して作業所を卒業していかれて明るいお話だった。

**森野:** 私はメンバーさんが一人で亡くなっていたことですね。昔はランチ提供などなかったし、行事でどこかに一緒に出掛けたりする機会も少なかった。何とかしてあげたかった。

**齋藤:** 干隈時代のメンバーさんで若い男性が自殺されたこと。みんなで呆然としたね。悔やまれてならない。当時の自分は知識、経験不足だったですね。嬉しいことよりも悲しい辛いことが印象に残っていますね。

**岸良:** いつそんなことが起こるとも限らないから、その日一日が楽しく過ごせるように、楽しい日々でありますようにと思っています。自分もみんなも何時って分からないからその瞬間を大切にしていきたいですね。

**西村:** 苦難の連続の中で、家族会やスタッフの方々の努力の結果、福岡市において素晴らしい作業所との評価を頂き、当時の市長に2回にわたり、ご来臨の栄を賜った事です。

一回目はH11年10月、山崎広太郎市長に、二回目はH19年9月、吉田宏市長に来て頂きそれぞれ“労い”と“エール”の言葉を頂きました。社会福祉法人設立認可を貰った事、又“ぶらっと”を地域活動支援センターI型として発足した事等も忘れる事ができません。

## ●つばめ福祉会のターニングポイント

**西村:** ターニングポイントとしては、社会福祉法人設立があげられます。設立にあたっては、地域の方々のご支援に加え、油山病院、荒江クリニック(現・野中クリニック)、黒田ライオンズクラブ、家族会の方々、一部のスタッフの方々に物心両面のご支援を頂きました。

**齋藤:** 必死になって応援してくれましたね。あとメンバーさん一人ひとりが頑張っていた。それを忘れてはいけませんね。

**喜多:** 私も法人化されたときですね。それかつばめに入って仲間同士の作業所の雰囲気を感じたとき。

**岸良:** 私も法人化されたときと、干隈作業所からピアつばめに変ったときですね。ページをめくったようにいろんな意味ですごく変わりましたね。

## ●この仕事の魅力を教えてください。

**喜多:** お互い支えあっていると感じたときかな。利用者さんからたくさん学びました。

**岸良:** 人としても学びが多いですね。居心地もいいです。人間

関係とかで嫌な思いをしてやめたいと思ったことがない。また毎日が新鮮なので飽きることがありません。

**森野:** ほかの職場では味わえないですね。失敗も多かったけどみんな許してくれる。

**齋藤:** 私は利用者さんが本当に状態が悪いときに家族と疎遠になっていても、それが年月かけて病気が回復してきたときにまた家族と打ち解けられてる瞬間がたまらないです。本人の力で回復して自分が回復したら家族も近づいてきてくれる。見とどけられることが嬉しいですね。

## ●職員に期待することはありますか？

**齋藤:** みんな福祉を勉強している立派なスタッフばかり。支援のお手本など逆に教えてもらっています。欲を言えば家族の思いにも寄り添っていただきたいです。

**岸良:** できるだけ長く働いてもらいたいと思っています。長くいたらいいで、いろいろなものが見えてきますし。

**森野:** 自分自身、後期高齢者だから思うこと。みんな平等に年をとっていくから、それなりの準備と一緒にしてあげたらメンバーさんは安心するんじゃないですかね。

**西村:** 人は、一生の中で、“幸せをどの様に感じる事が出来るか”が非常に大切だと思います。“生きづらさ”を持っている仲間達と、支援する方々双方が、“その人なりの幸せを感じる状態”を、どのように創り出して行けるかが課題です。これは難しい課題ではありますが崇高な課題でもあります。価値ある崇高なこの課題に、熱意を持って、倦(う)まず弛(たゆ)まず取り組まれることを期待します。

## ●座談会を終えて・・・

**鷹尾:** 本日は皆さん貴重なお話をありがとうございました！

**齋藤:** 不思議ですね。打合せしているわけじゃないのにみんな同じ思いを抱えていることが素敵でしたよね。



※この座談会は「密閉」「密集」「密接」を避け新型コロナウイルスの拡大防止に努めながら11月30日に行われたものです。